

# 都市計画道路見直しを

## 都に住民署名4369人分提出

東京都特定整備路線を提出しました。

東京都特定整備路線連絡会と都市計画道路問題連絡会は18日、小池百合子都知事に対し、都市計画道路の抜本的な見直しを求める要請署名4369人分

反対運動や訴訟に取り組んでいます。国の方針に基づき全国で都市計画道路の見直しが進む中、都が見直しで廃止した路線は2路線で、7月に公表した方針案では検討対象を「概成道路」などに限定しています。

参加者は「200戸

の住民を立ち退かせて商店街を分断する計画で、道路が建設されれば商店街が衰退してしまう(北区)、「小池知事は知事選で住民のアンケートに、住民から疑義が出ている路線は『巡視し、住民とも対話』と答えている。ぜひ現地を見てほしい」

(小金井市)などと訴えました。

都政策企画局の徳田哲吉・知事秘書担当課長は「要請の趣旨は知事と所管局に伝えます」と答えました。

要請には日本共産党の曾根はじめ、白石たみお両都議が同席しました。

# 街壊す計画道見直せ

## 都民ら国交省に署名提出

### 吉良氏が同席

東京都特定整備路線連絡会と都市計画道路連絡会は18日、多くの都民が反対し、住民生活を破壊する都市計画

道路の抜本的な見直しで住民合意がない道路を求める署名を政府に提出しました。日本共産党の吉良よし子参院議員が同席しました。署名は都市計画道路の見直しと、不要不急の参加者は「道路計画



は商店街を壊すもの「都は道路の目的は延

焼遮断」と言うが、効果は全くない「国交省の事業認可に対し多くの人が不服申し立てをしている。異常なこと」などと訴えました。

吉良氏は、閣議決定された「骨太の方針」で

都市計画道路見直し署名を国土交通省の担当者へ手渡す人たち。中央は吉良氏。18日、東京都千代田区

都市計画道路の見直しの加速をうたい、これに基づき国交省が「都市計画道路の見直しの手引き」を出している」と指摘。「手引き」は単なる事例集ではなく、国の方針を示したものの。都にも徹底すべきだ」と求めました。

国交省の担当者は住民の意見を「都に伝える」と答えました。